

令和 5 年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
農産・畜産部門

地域の水田を集積・集約、雇用創出と耕畜連携で地域へ貢献

○氏名又は名称 ライスフィールド 有限会社（代表 吉岡 雅裕）

○所在地 島根県松江市

○出品財 経営（水稲・WCS 用稲（稲発酵粗飼料）・そば）

○受賞理由

・地域の概要

松江市は、島根県の東部に位置している。日本海に面し、宍道湖、中海、堀川など多様な水域に恵まれた比較的温暖な地域である。市の耕地面積の 7 割を水田が占め、水稲やそばの栽培が盛んであり、一部の地域では露地野菜や施設野菜、果樹等も栽培されている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成 14 年に法人を設立し、地域の農地の受け皿として規模を拡大してきた。令和 4 年現在、238ha の経営面積で主食用米、加工用米、酒米、WCS 用稲、そば等を栽培しており、それぞれの作物の品種は、作付前年に販売先からの要望を受けて選定している。その他、無人ヘリ防除や収穫作業等の作業受託を実施している。

・受賞者の特色

（1）スマート農業技術を活用した大規模生産

広大な面積を管理するため、営農管理システムを活用し、ほ場別に作付品目や作業進捗を可視化することで、作業の効率化と社員への情報共有を図ることにより、労働時間の大幅な低減を図り、生産性向上を実現している。

（2）県内畜産農家との耕畜連携の取組

県内の畜産農家に稲 WCS、稲わら及び籾殻を提供し堆肥を受け取る耕畜連携を実施している。堆肥は秋に全ほ場に施用し、土壌肥沃度の維持や化学肥料の削減が可能となっている。

（3）GAP 取得による管理の徹底

生産工程管理、農場・事務所の整理整頓、農機のメンテナンスや清掃等を全社員が徹底している。平成 29 年に県の GAP 認証制度「美味しまね認証」を、令和元年には国際水準である「美味しまねゴールド」を、どちらも第 1 号で取得した。

・普及性と今後の発展方向

若手社員の雇用・定着のため、社会保険等の福利厚生や安定した給与体系を実現している。冬季の収益確保を目的とし、自ら土木会社を設立することで年間雇用の創出を達成した。また、事業継承に向け、勉強会等により社員育成を強化している。